

平成18年度 第1回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

- 1 開催日時 平成18年5月18日（木曜日）10時00分～11時45分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市役所3階 303会議室
- 3 出席者
(1)委員：下津谷委員長・新山副委員長・桑原委員・小川委員・佐藤委員
(2)市側：①川西教育長
②事務局：石井部長・松永課長・木村補佐・犬塚文化係長・三石主査・
長沼主査補
③欠席委員：なし

4 議題等

人事異動による文化財関係新体制の紹介：木村補佐

1. 開 会：係長
2. あいさつ：下津谷委員長
3. 議 題：司会進行 委員長
(1)平成18年度文化財保護主要事業について（報告）（資料1）：事務局説明
(2)小金中野牧の込跡及び初富小学校校庭西側所在野馬土手の指定申請の進捗状況について（報告）（資料2）：事務局説明
—教育長、生涯学習部長途中より参加（教育長就任挨拶）—
(3)市内の文化的景観・里山について（協議）
(4)その他（鎌ヶ谷大仏看板設置工事終了について報告）
4. 閉 会：副委員長

5 審議内容

議題1 平成18年度文化財保護主要事業について（報告）

[質疑応答]

委 員：5の北西部地区文化財担当者連絡協議会発表会の開催は、前年度は、1週間程度ではなかったのか。

事務局：前回までは展示は1週間実施していたが、平日の来場者が少なく会場に立会う各市の職員の負担が大きいため、今回は3日間で実施する予定とした。

委員長：開催会場市の負担が大きくなるようなことはないか。

事務局：協議会として発表会を開催するので会場市に予算的な負担がかかることはない。会場手配等の事務的な働きをする必要はある。

委員長：4の埋蔵文化財発掘調査事業の予算は300万円となっているが、国の補助は50%で、県の補助は今現在何%か。

事務局：現在12.5%（1/8）となっている。

委 員：6の小金中野牧の込跡史跡整備事業の中で、清掃はどの程度まで行うのか。下草まで全て刈ってしまうと小動物や植物の生態に影響がでってしまうのでその点にも考慮が必要である。

事務局：ゴミの撤去が最優先である。文化財的には史跡の状態が確認できる位に見通しが良くなるよう清掃したい。動植物の生態の保護にも考慮してどのように清掃するのがいいのかは、また

意見を伺って行ってゆきたいと考えている。

委員：所有者に承諾をとって立ち木等も伐採するのか。今のうちに所有者の許諾をもらい、取り除けるものは何とかしたほうが良いのではないか。

事務局：所有者と調整を図っていきたいと考えている。

委員長：清掃管理はどこに委託するのか。

事務局：シルバー人材センターに委託する。予算要求時に見積りをとっている。

委員：4の埋蔵文化財発掘調査事業にかかる費用であるが昨年と比べてどうか。

事務局：昨年は200万円であったので5割増加となっている。国庫補助の対象となる調査として野馬土手の調査がこれまでの本調査扱いから確認調査の対象となったため、その増加分を含んで予算化したため増額している。また景気の影響で土地も流動化しているようで問い合わせや照会件数も増加しているようだ。

議題2 小金中野牧の込跡及び初富小学校校庭西側所在野馬土手の指定申請の進捗状況について（報告）

〔説明〕

事務局：小金中野牧の込跡は資料の地形測量図の右下に加えた谷津を含めた部分を申請し、合わせて申請する初富小学校庭西側所在野馬土手は崩れている部分を通用口としていているが、その部分を除いて指定申請をおこなう。

これからの予定として5月末までに指定申請に向けた調整をし、申請書の提出、用地測量をし、その後、指定決定される予定となっている。また指定後は公有化(買い上げ)を行い、史跡の活用方針の検討をしていく予定である。文化財審議会でも方針について諮ってゆきたい。

〔質疑応答〕

委員：谷津の部分の指定については所有者の意思確認はしているのか。

事務局：内諾をいただいております、これから承諾書もいただくことになっている。

委員長：指定部分の面積は確定しているのか。

事務局：込跡の谷津部分と初富小学校の野馬土手を測量会社に求積を依頼しているところである。他の部分についてはわかっている。

委員：込跡の入口はまごめ食堂の駐車場からになるのか。道路から離れたところにあるなら、整備の時に考えなければならないのではないか。

事務局：谷津の部分と貝柄山公園が隣接しているので、将来的にはその辺を活用した方向も考えていきたいと思う。

委員：史跡整備イコール駐車場設置にこだわらず歩道のアプローチだけでも可能ではないか。あまり手を加えないで自然を楽しんでもらうというスタイルでもいいと思う。

委員：土手は谷津からどのくらいの高さがあるのか？

事務局：谷津から台地まで12、3m、土手の頂部まで約15m位の高さである。

委員：野馬土手には動植物の資料もたくさんある。指定は良いことだと思う。また、市内には小規模であるが、残存している土手も少なくない。個人所有地内でも昔の状態が良くわかるものがある。今は希少となってしまっているが、かつては自生していた植物も見られることから、動植物の観点からはそうした場所が何箇所か確保できるのが望ましい。動植物を含めた保護が図られたら良いと思う。

